

平成23年12月

平成23年	10月	～	12月期	実績
平成24年	1月	～	3月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23

[集計資料]

本調査結果について、東日本大震災の津波で壊滅的に被害のあった4商工会地区(陸前高田、大槌、山田町、野田村)の状況は、調査不能のため含まれておりませんので、予めご了解のうえ、ご覧下さい。

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いたものです。

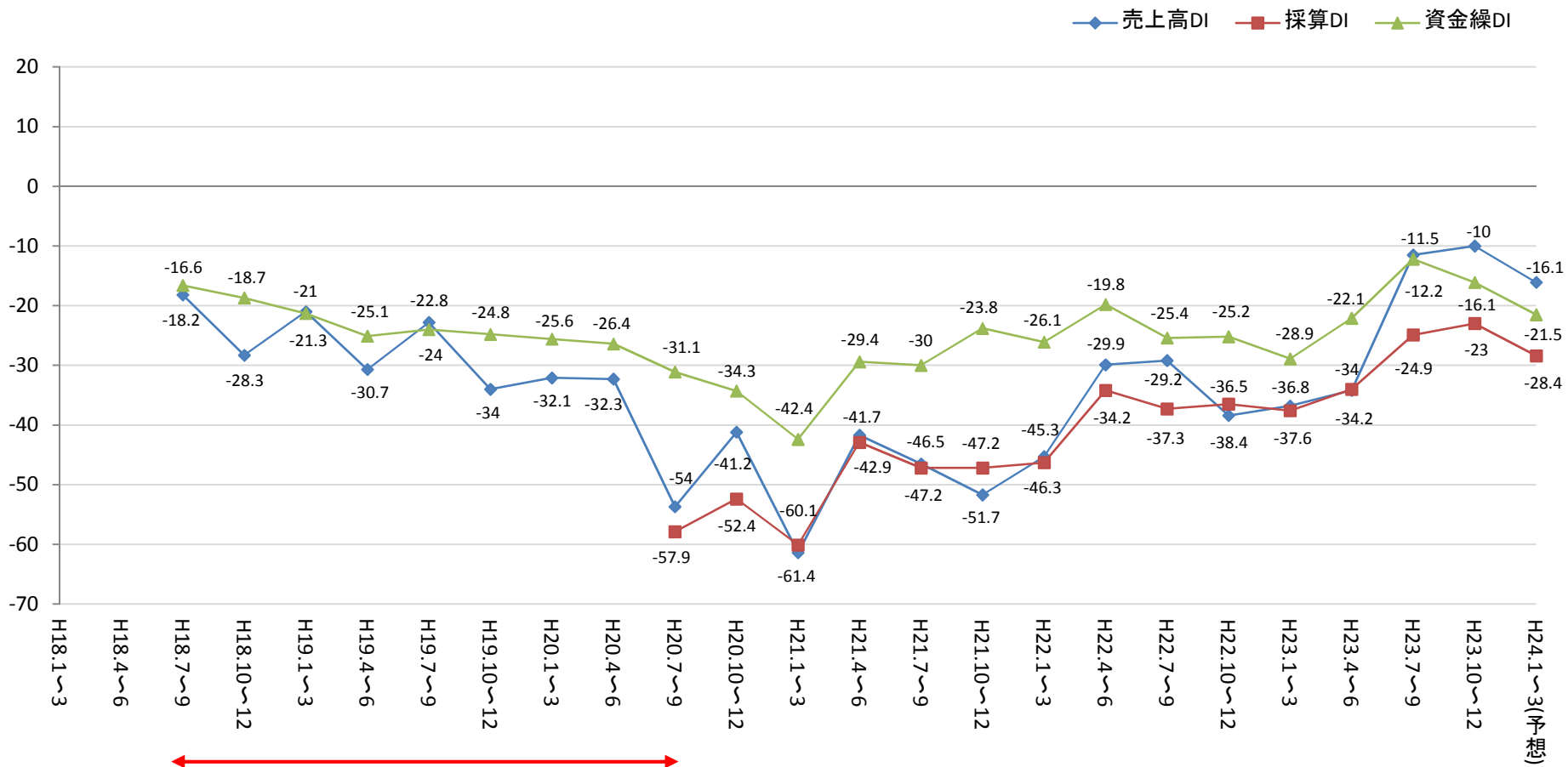
D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[岩手県 産業全体]






主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについて全国連にはデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成22年				平成23年				(見通し) 平成24年 1~3月
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
製 造 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇
建 設 業	 雨	 曇	 曇	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 晴	 薄曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

売上高

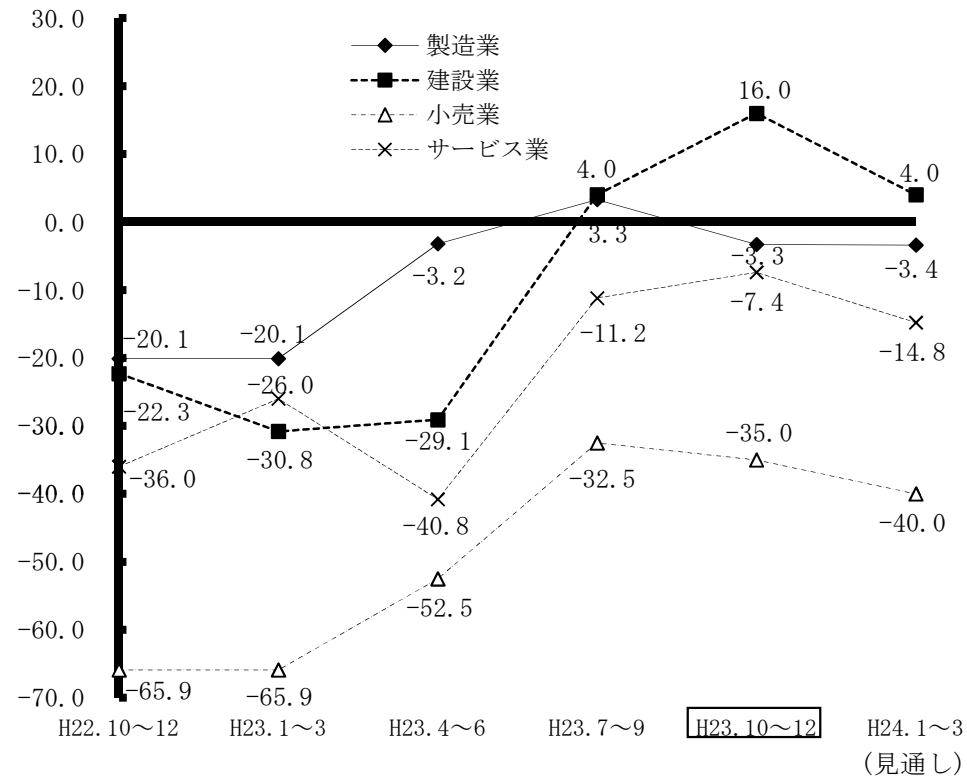
今期は、建設業において、前期に引き続いてD・Iが上昇し、12.0ポイント上昇の16.0となり、平成15年1月～3月期の調査時以降で最も高い水準を維持しております。

また、サービス業も3.8ポイント上昇の△7.4となり、この2業種は、売上高の回復傾向がみられます。

しかし、製造業においては、6.6ポイント低下の△3.3となり、D・Iも再びプラスからマイナスに転じました。小売業は、2.5ポイント低下の△35.0となっています。

来期は、すべての業種において、低下が予想されています。特に、小売業は2期連続低下予想の△40.0となり、依然として低い水準が継続する見通しです。

※建設業の売上高は完成工事高



全産業の推移

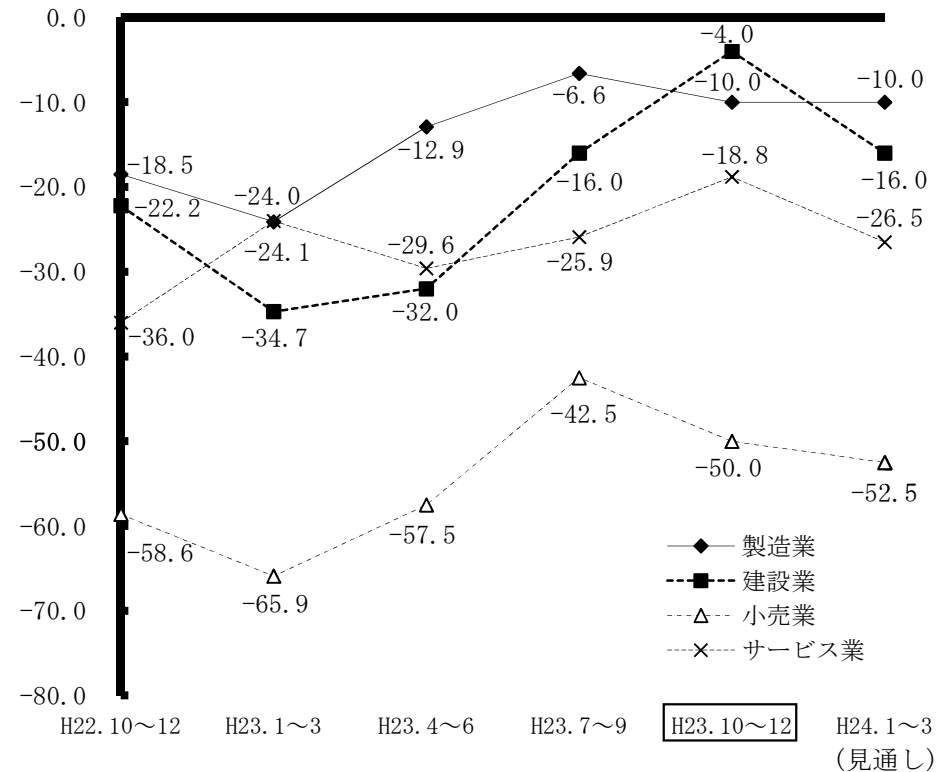
採算

今期は、建設業及びサービス業において、売上高D・Iが上昇していることもあり、この2業種では、採算D・Iも上昇しました。

特に、建設業では、12.0ポイントと大幅な上昇により△4.0まで回復しました。

来期は、製造業は横ばいであるものの、その他の業種では低下の見通しとなっています。

※採算は各業種とも経常利益



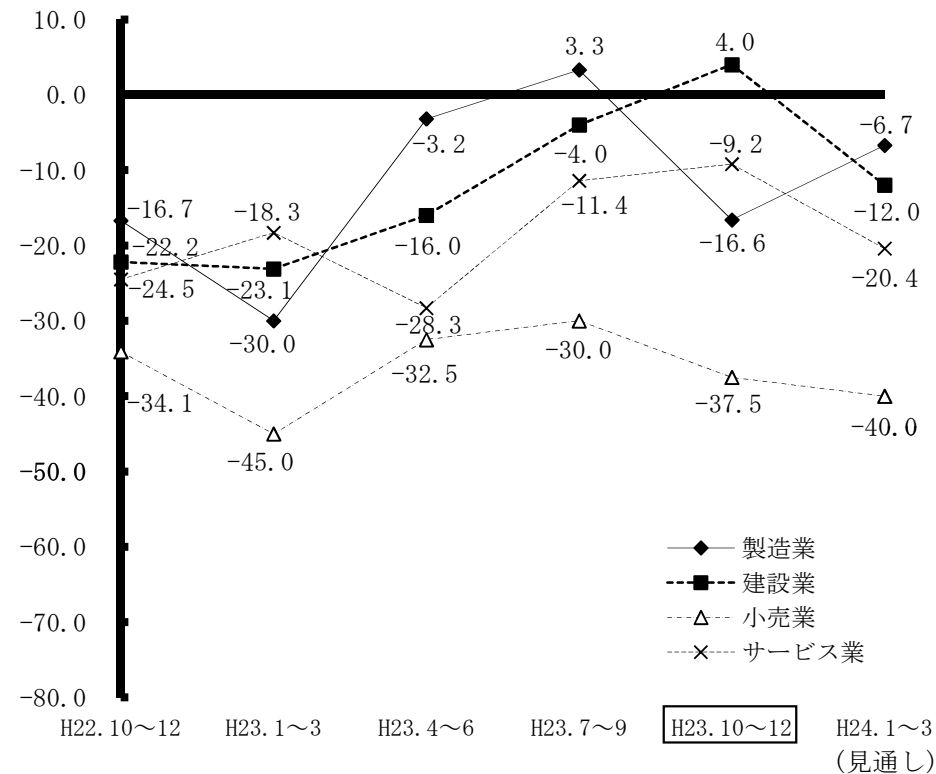
全産業の推移

資金繰り

今期は、建設業及びサービス業において、売上高及び採算D・Iが上昇していることもあり、この2業種では、資金繰りD・Iも上昇しました。

特に、建設業では、8.0ポイントの上昇により4.0まで回復し、D・Iもマイナスからプラスに転じました。

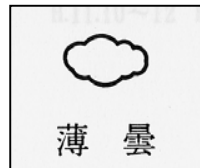
来期は、製造業が上昇の予想をしているものの、その他の業種では、低下の見通しとなっています。



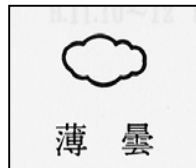
製造業の推移

売上高

<今 期>

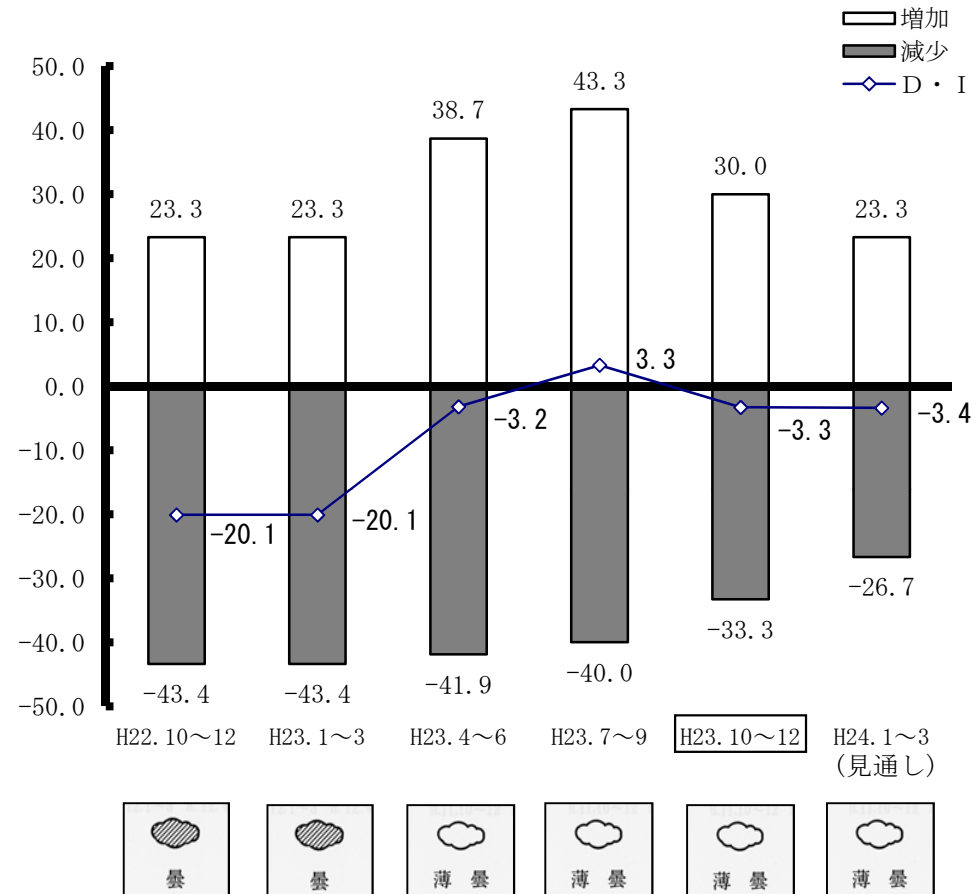


<来期見通し>



前期見通しでは、16.6ポイント低下の△13.3でしたが、実際は、好転企業割合が前期見通しより増加したことにより、△3.4にとどまりました。

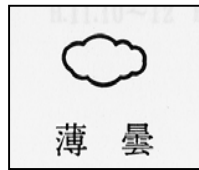
来期は、好転予想企業割合の減少が続くものの、悪化予想企業割合も同様に減少することから、D・Iは、ほぼ横ばいの△3.4の見通しとなっています。



製造業の推移

採算

<今 期>

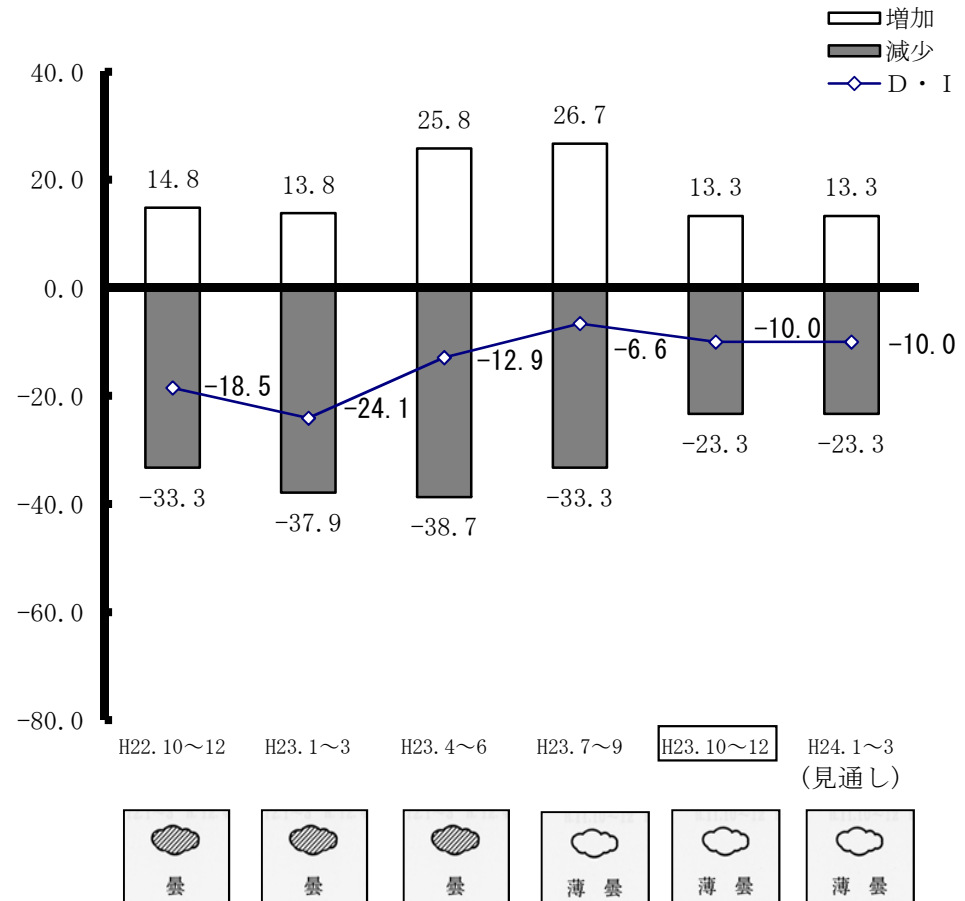


<来期見通し>



前期まで2期連続上昇してきたD・Iが、今期は、悪化企業割合の減少以上に好転企業割合の大幅な減少により、再び低下に転じ、 $\Delta 10.0$ となりました。

来期は、好転予想企業割合及び悪化予想企業割合ともに今期と変わらず、D・Iも横ばいの $\Delta 10.0$ となる見通しです。

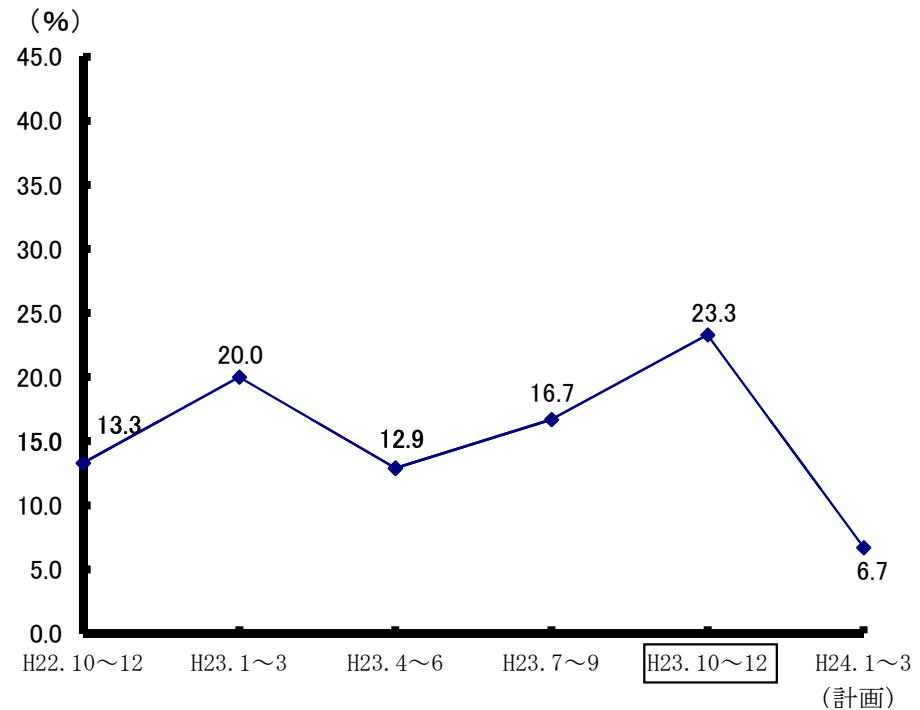


設備投資

前期見通しでは、設備投資を行う企業は、10.0%と予想しておりましたが、実際は、予想を大きく上回る23.3%の企業において、設備投資が実施されました。

来期は、設備投資を計画している企業の割合は、大幅に減少し、6.7%になると見込まれます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



経営上の問題点

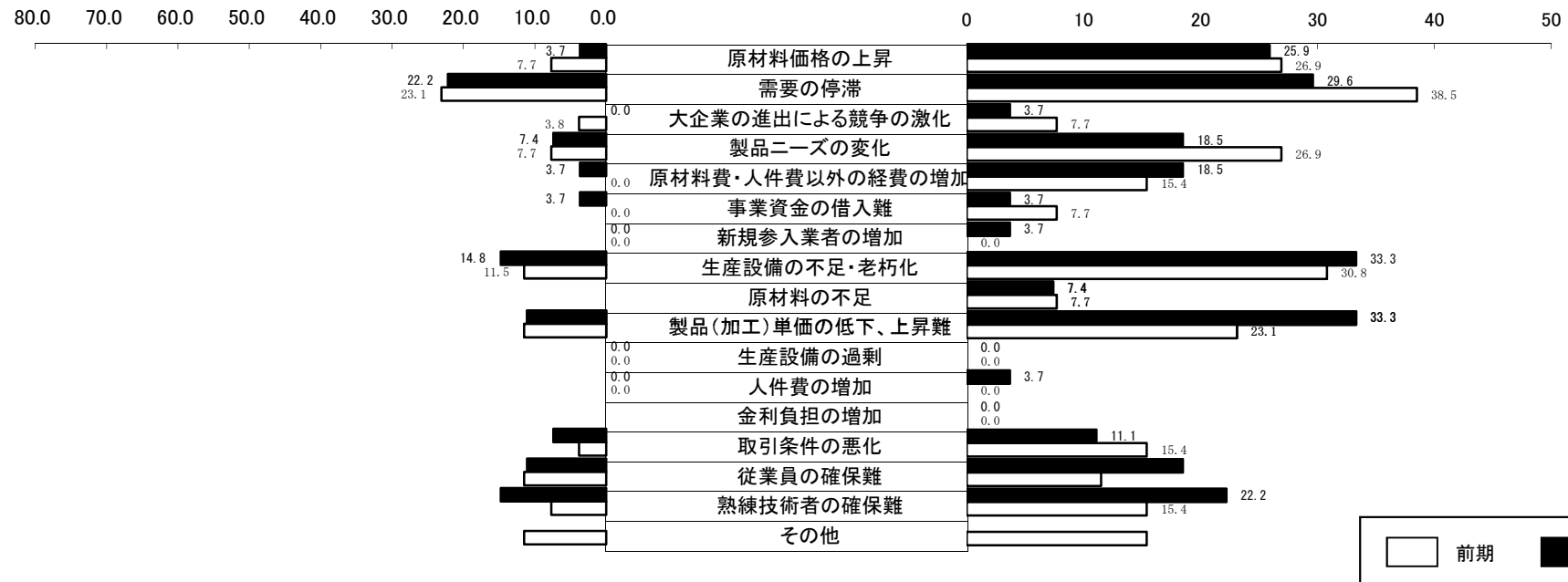
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



建設業の推移

売上高

<今 期>



晴

<来期見通し>



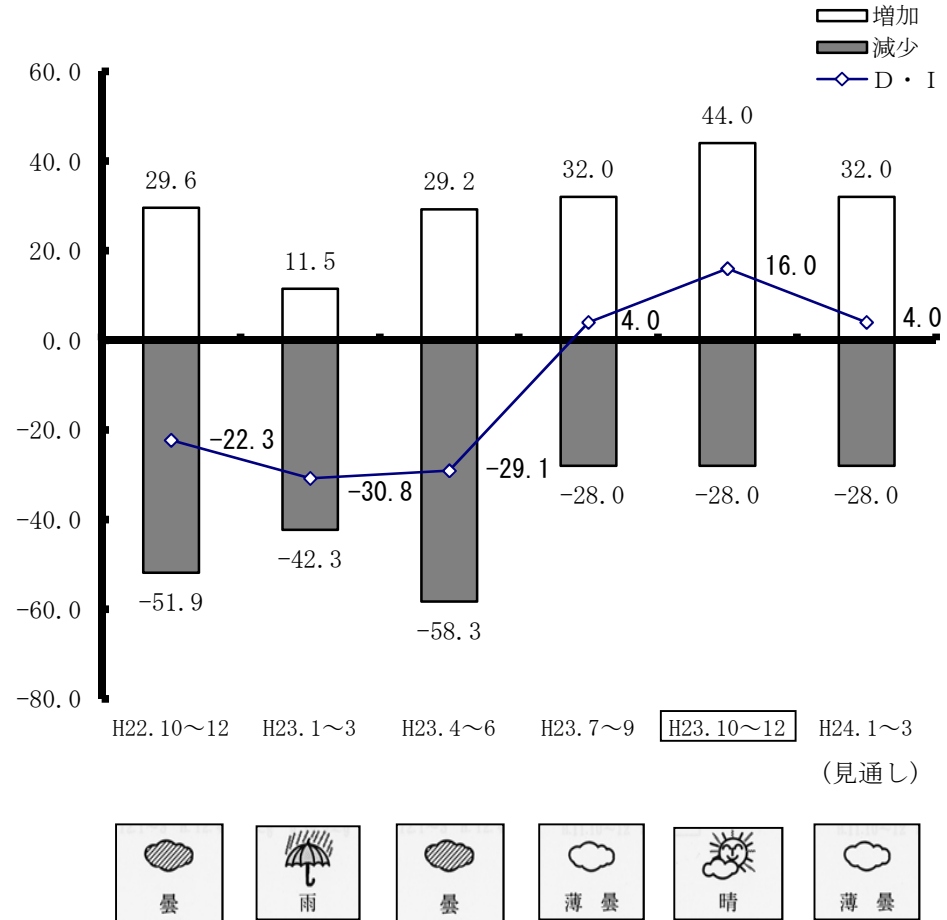
薄曇

前期見通しでは、D・Iが8.0と予想しておりましたが、好転企業割合が予想を大きく上回ったことが寄与し、12.0ポイント上昇の16.0となり、平成15年1月～3月期の調査時以降では、最も高い水準を維持しています。

また、業況天気図も薄曇から晴へと移行しています。

来期は、悪化予想企業割合は変わらないものの、好転企業割合の減少により、D・Iは、12.0ポイント低下の4.0となる見通しです。

※建設業の売上高は完成工事高



建設業の推移

採算

<今 期>



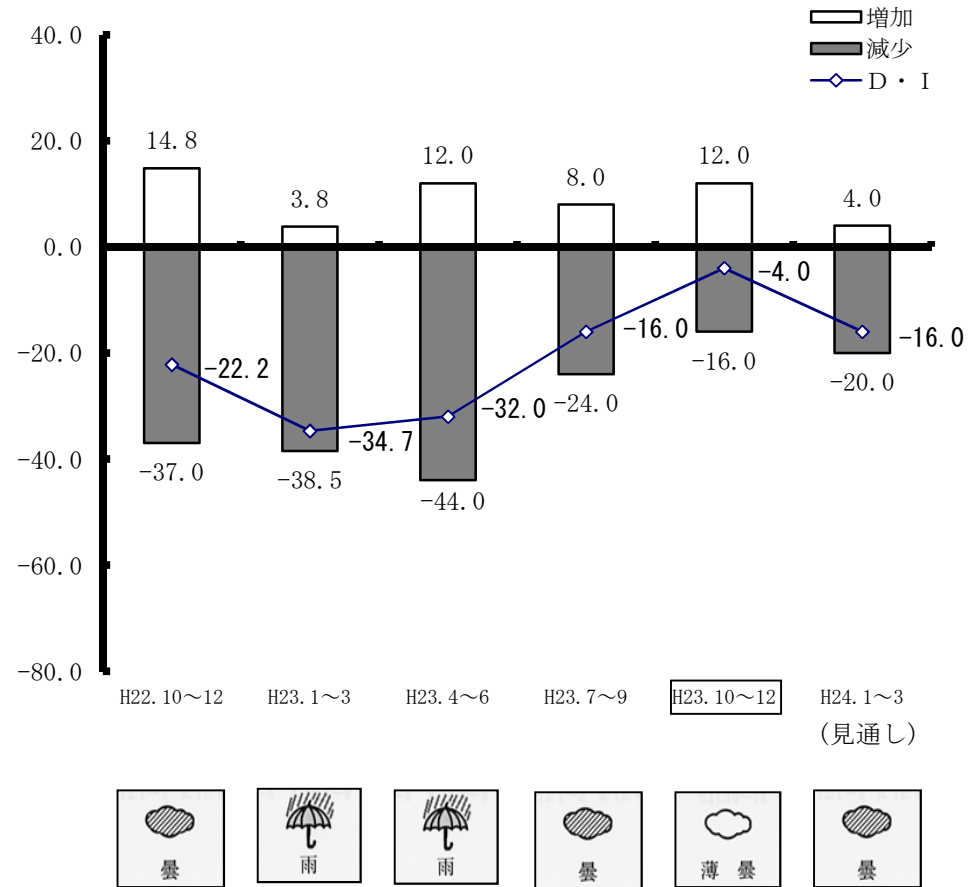
<来期見通し>



前期見通しでは、8.0ポイント上昇の△8.0となっていました
が、実際は、好転企業割合の増加と悪化企業割合の減少により、12.0ポイント上昇の△4.0まで改善されました。

また、業況天気図も曇から薄曇へと移行しました。

来期は、今期まで3期連続して上昇したD・Iが、好転予想企業割合の減少と、悪化予想企業割合の増加により、低下に転じ、△16.0となる見通しです。

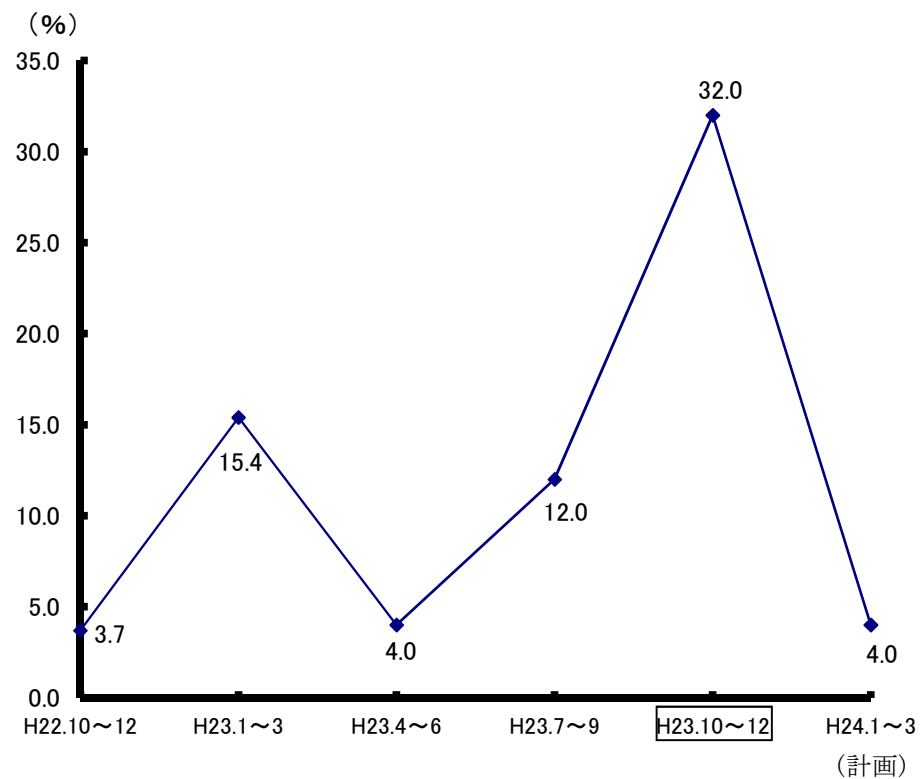


設備投資

前期見通しでは、4.0ポイント増加の16.0%と予想しておりましたが、実際は、これを大幅に上回る32.0%の企業で、設備投資が実施されました。

来期は、今期の大幅増の反動により、設備投資を予定する企業は、大幅に減少し、4.0%となる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

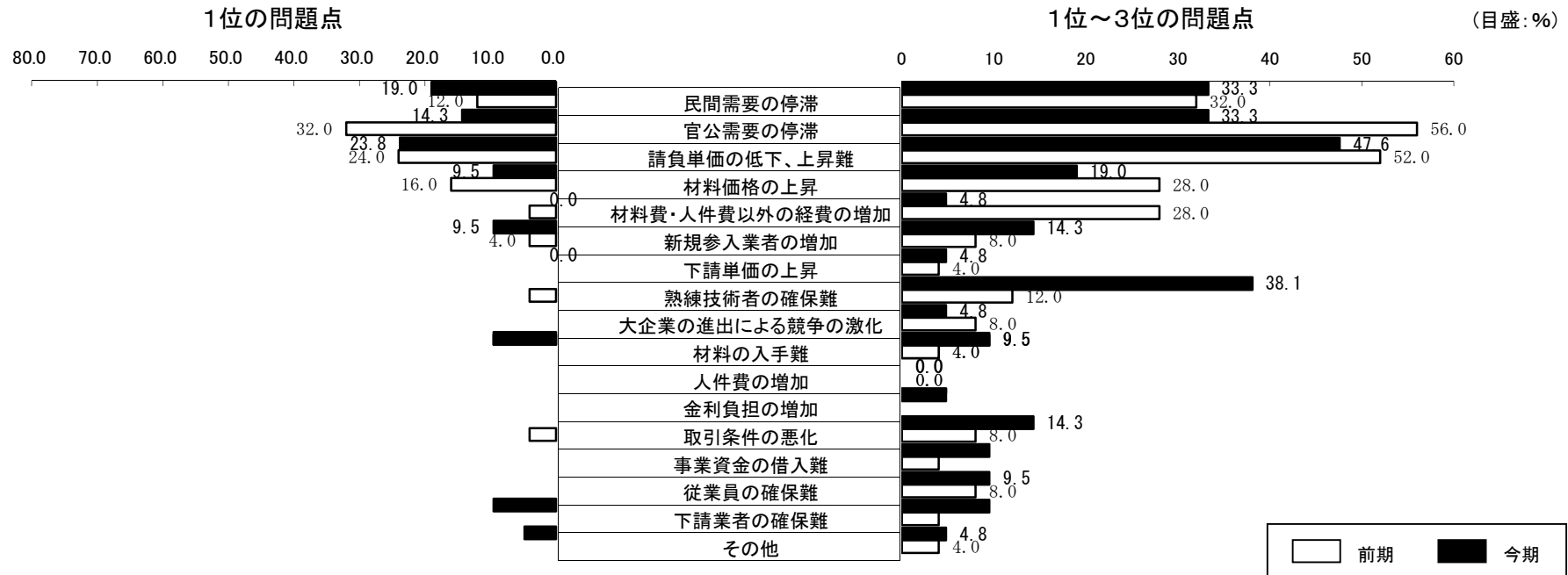


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

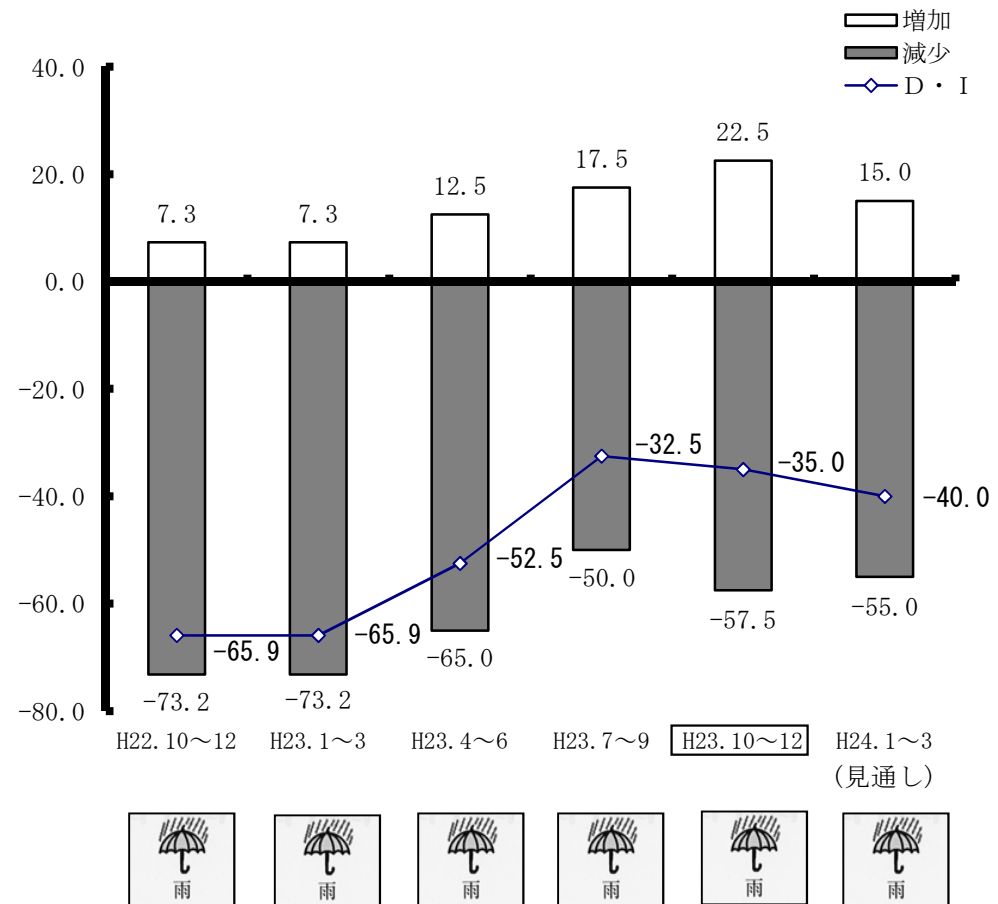


<来期見通し>



前期まで2期連続の大幅上昇により、マイナス幅を縮小したD・Iが、今期は、好転企業割合の増加以上に、悪化企業割合の増加が拡大したことで、△35.0となり、再び低下に転じました。

来期は、好転予想企業割合の減少により、D・Iは、5.0ポイント低下の△40.0となる見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

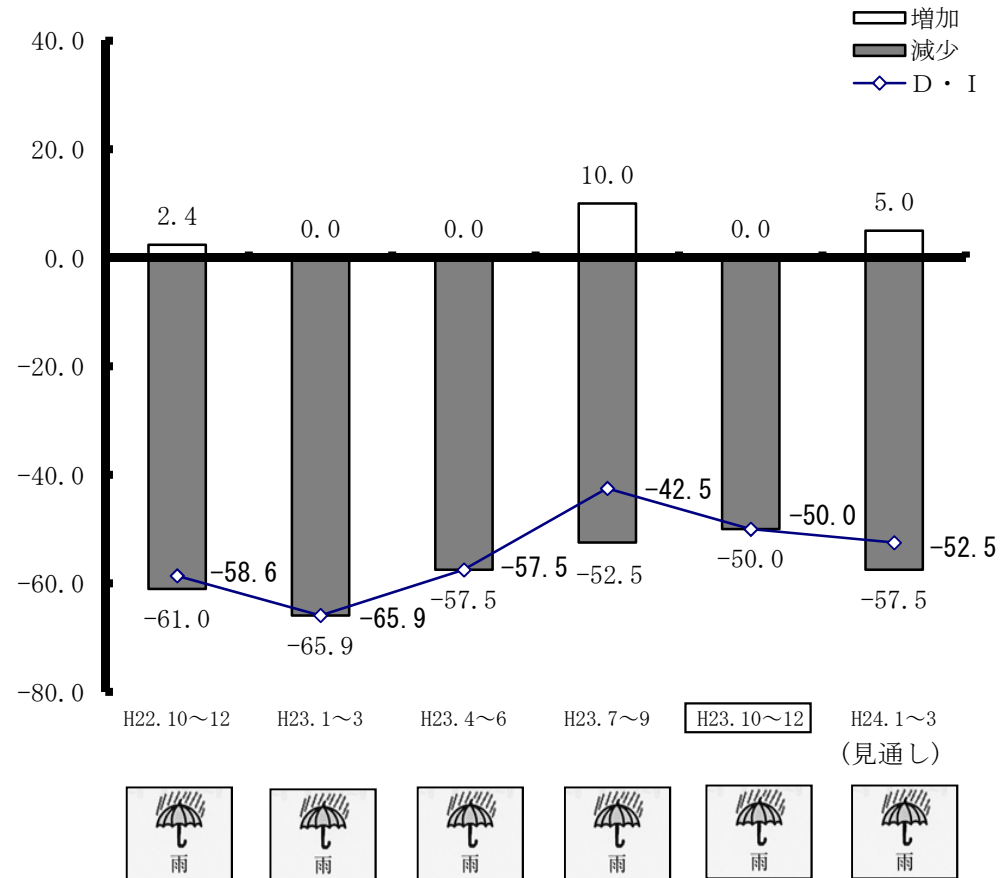


<来期見通し>



前期見通しでは、2.5ポイント上昇の予想をしておりましたが、実際は、好転企業割合の減少により、7.5ポイント低下の $\Delta 50.0$ となりました。

来期は、悪化予想企業割合の増加により、2.5ポイント低下の $\Delta 52.5$ となる見通しです。

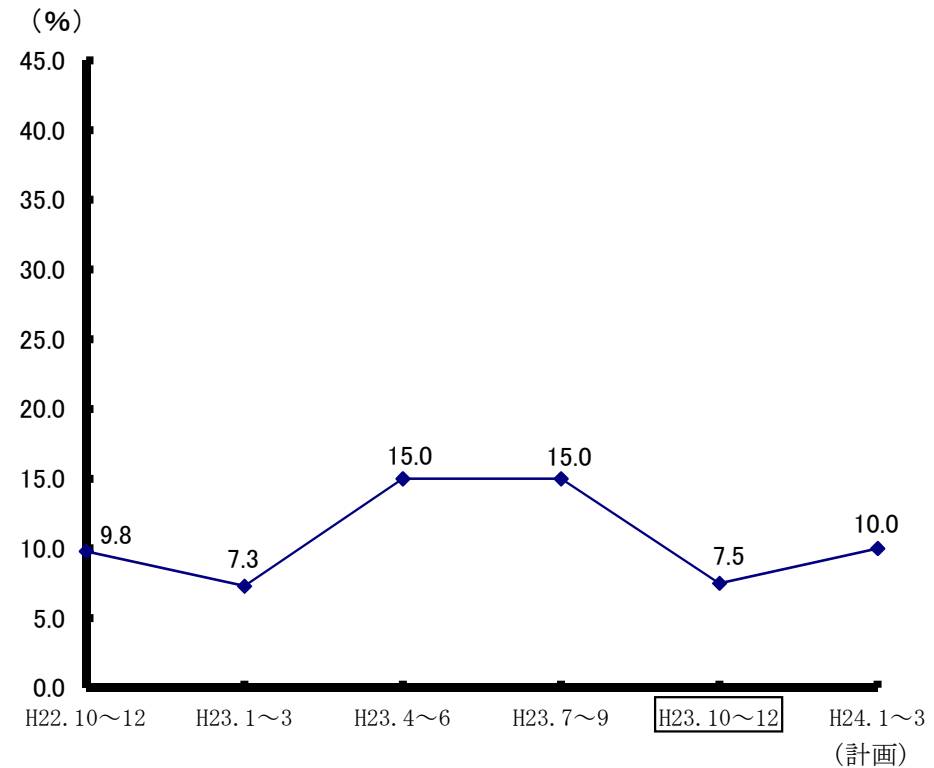


設 備 投 資

前期見通しでは、5.0%まで減少する予想でしたが、実際は、予想をやや上回る7.5%の企業において、設備投資が実施されました。

来期は、再び増加に転じ、10.0%の企業において、設備投資が計画されています。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

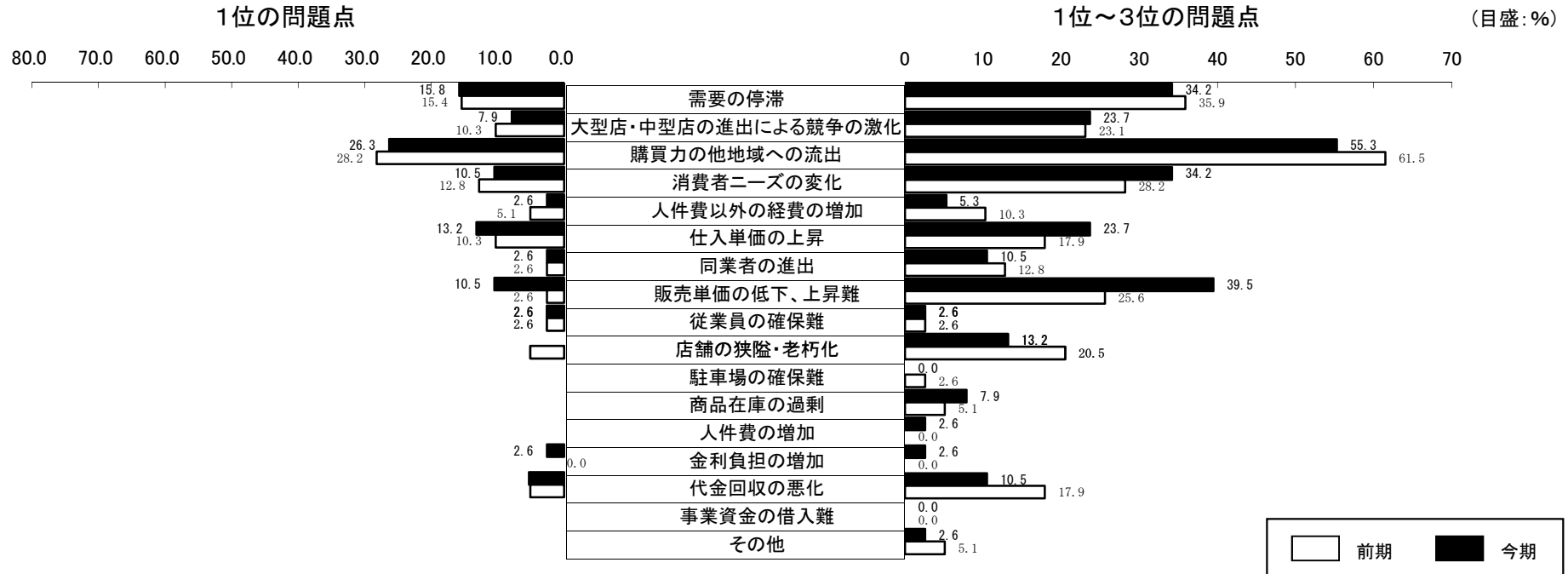


小売業の推移

経営上の問題点

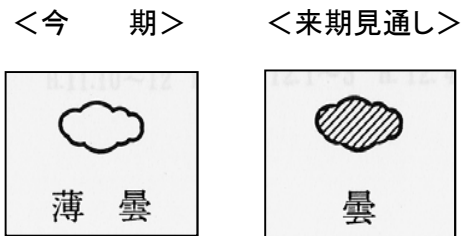
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



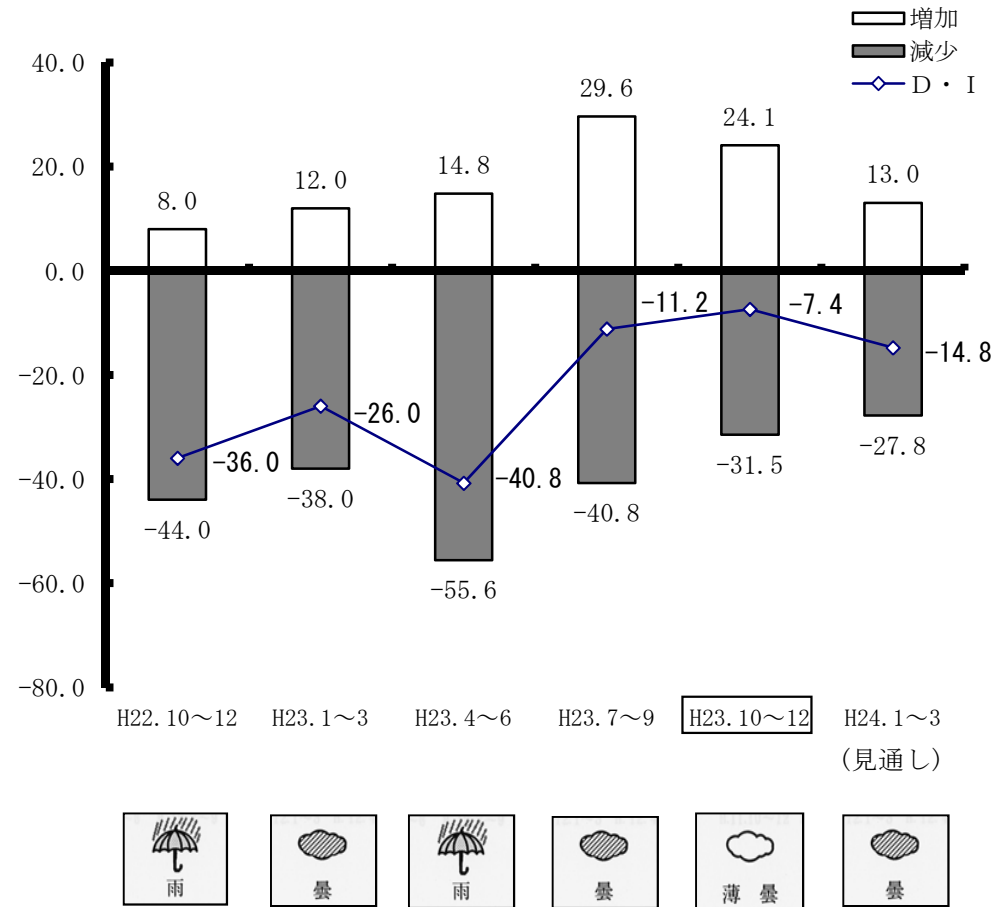
サービス業の推移

売上高



前期見通しでは、好転企業割合の減少によって、12.9ポイント低下の△24.1と予想しておりましたが、実際は、3.8ポイント上昇の△7.4となり、業況天気図も曇から薄曇へと移行しました。

来期は、好転予想企業割合が減少し、7.4ポイント低下の△14.8となる見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

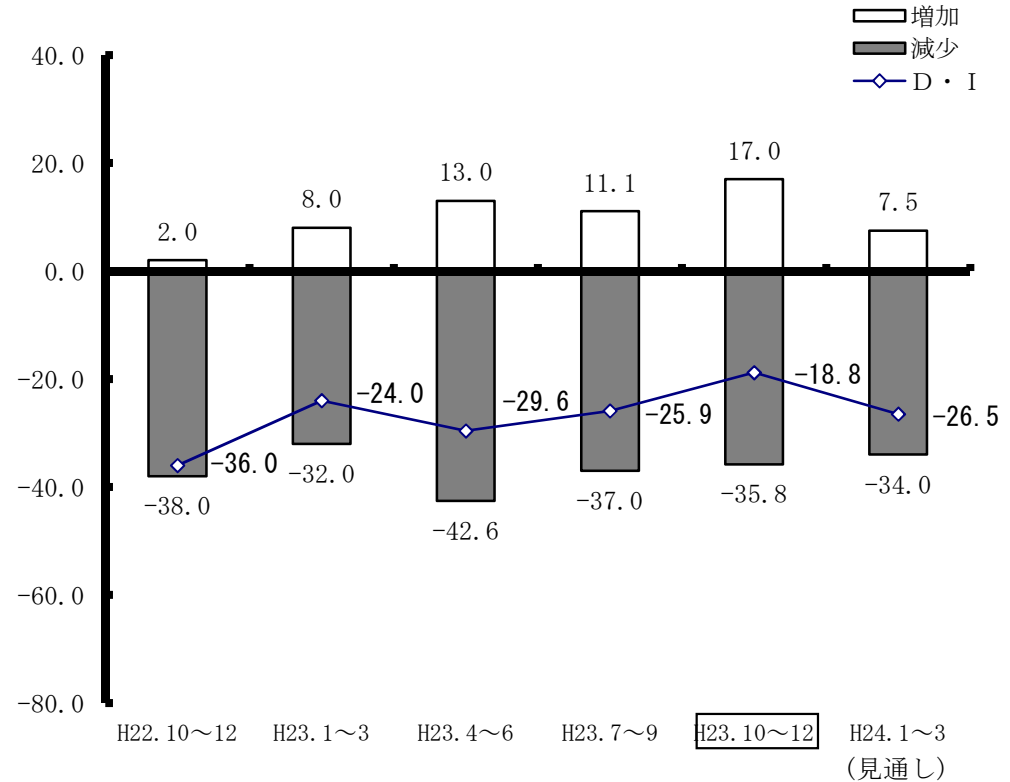


<来期見通し>



前期見通しでは、ほぼ横ばいとなる見込みでしたが、実際は、好転企業割合の増加が寄与し、前期より7.1ポイント上昇の $\Delta 18.8$ となり、採算についても、売上高と同様にD・Iの改善傾向が見られます。

来期は、好転予想企業割合の減少により、7.7ポイント下降の $\Delta 26.5$ となり、再び低下に転じる見通しです。

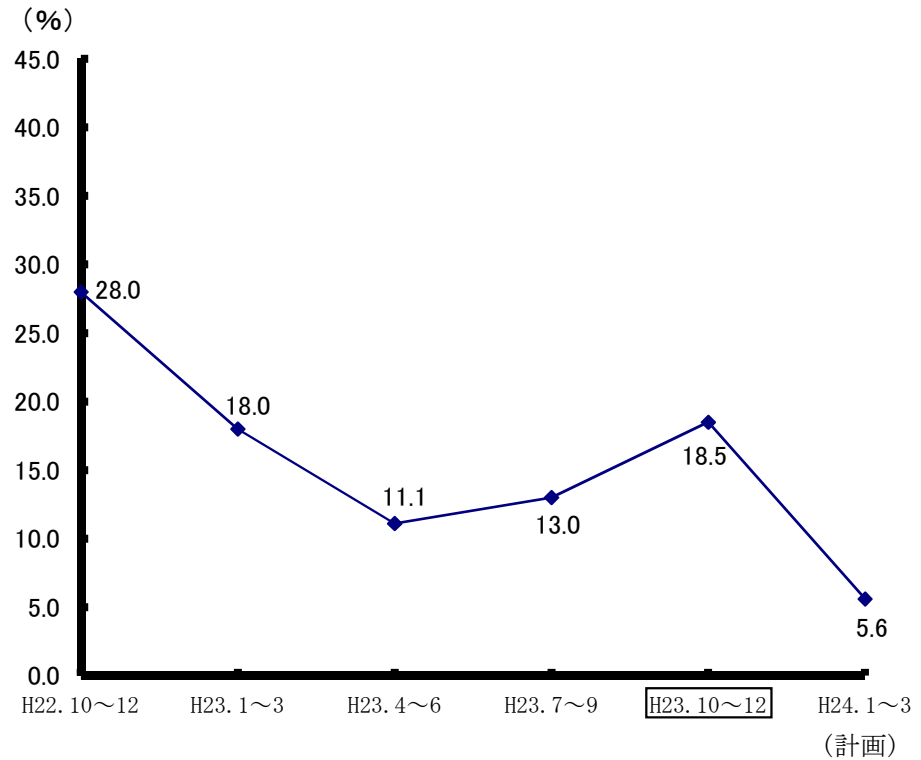


設備投資

前期見通しでは、3.7ポイント減少の9.3%にとどまる予想でしたが、実際は、5.5ポイント増加の18.5%の企業において、設備投資が実施されました。

来期は、設備投資を実施する企業が、再び10.0%を下回り、5.6%になる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

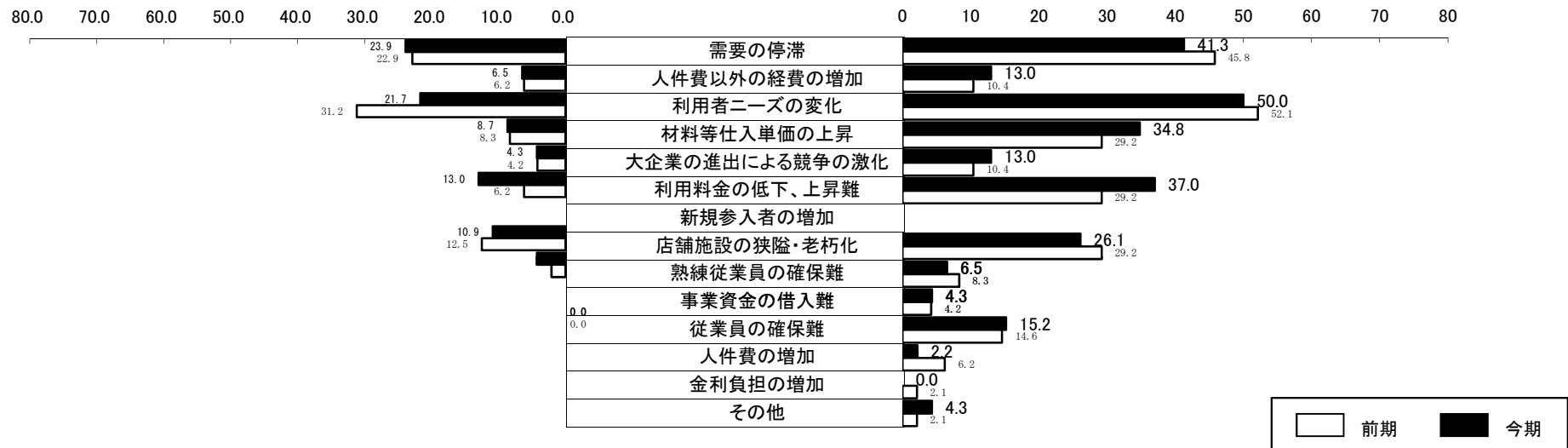
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

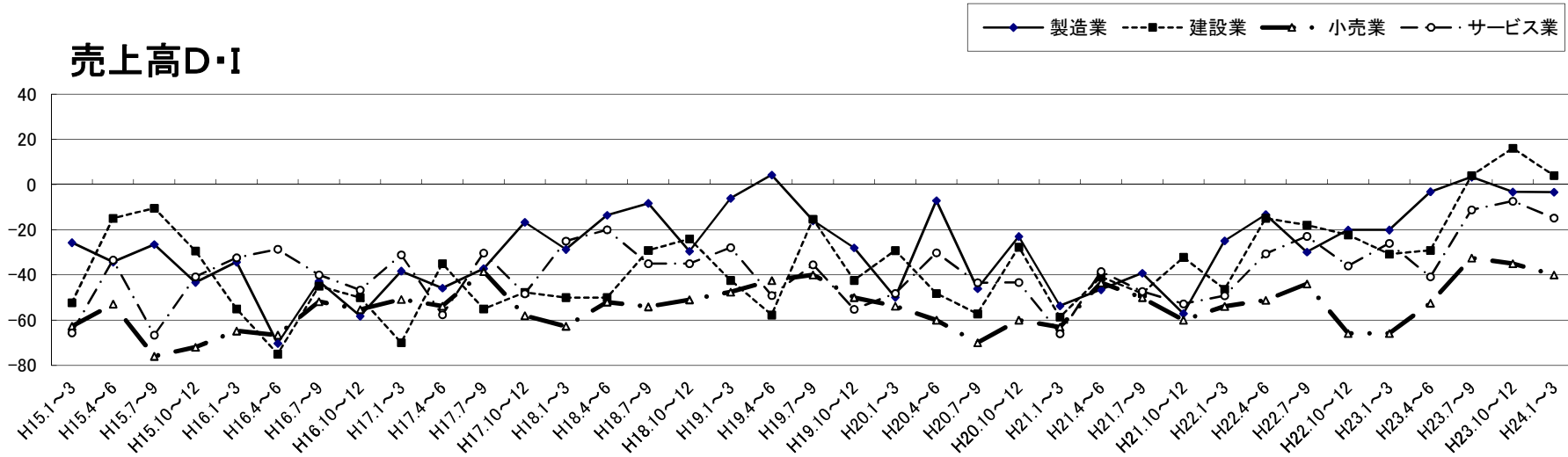
1位~3位の問題点

(目盛: %)

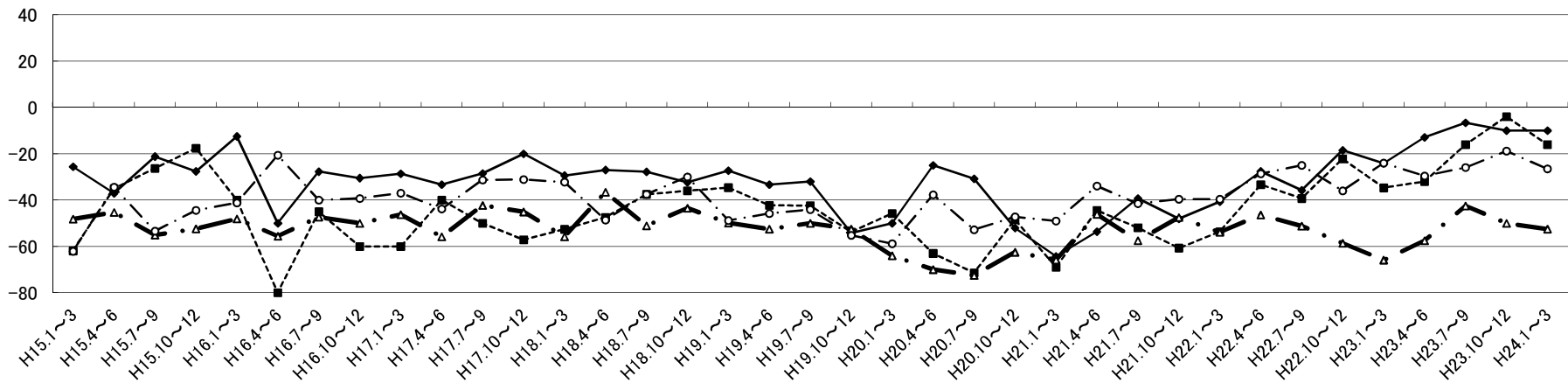


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、葛巻町、紫波町、西和賀、金ヶ崎町
(商工会名) 平泉、田野畑村、普代、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成23年10月～12月を対象とし、調査時点は平成23年11月15日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		31 (20.7)	30 (20.1)	96.8
建設業		25 (16.7)	25 (16.8)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.8)	100.0
サービス業		54 (36.0)	54 (36.2)	100.0
		150 (100.0)	149 (100.0)	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他

本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。